

第49回 ながの研修会

忘れてはならない伝統の技 『和紙による下張り工法』

～養貼り、袋貼り、清貼り～先人の知恵が



(写真上)研修会開会式・研修実技指導(写真下)

長野県表具経師内装協会(企画部・指導部)
主催・長野県職業能力開発協会共催・全表連中央ブロック連絡協議会後援・(社)長野県建設専門工事業団体連合会後援による『第49回ながの研修会』が、7月4日(木)～5日(金)上諏訪温泉片倉館諏訪湖木テルで開催した。

関東地方は激しい雨の悪天候だったが、諏訪湖周辺は比較的穏やかで開催時間が少し遅れたが、予定通り研修は進行した。若手の技能者が多く参加したこともあり、終始活気に満ちた研修内容を2日間に亘って実施した。

尚、今回は東京表具内装職業訓練校生徒及び指導員の参加があり大きな収穫となつた。

報告

職業訓練校指導員 櫻井潔(東京)

新しい年号となつた令和元年7月4日・5日、

東京都表具内装職業訓練校生徒、指導員、若手表具師グループ「表粹会」のメンバーを含め東

京から28名が参加した。

II忘れてはならない先人

の知恵!!「和紙による下張り工法」と題した日本

の手漉き和紙を使用して

また裏打ちを乾燥させる

のに必需品である

</